

令和4年12月21日

三鷹市議会議長 土 屋 けんいち 様

まちづくり環境委員長 大 城 美 幸

### まちづくり環境委員会管外視察結果報告書

本委員会は、令和4年度管外視察を下記のとおり実施したので報告いたします。

#### 記

#### 1 視察期日

令和4年10月6日（木）

#### 2 視察先

金沢市（石川県）

#### 3 視察項目

##### (1) 金沢ふらっとバス（金沢市）

本市では、「三鷹市交通総合協働計画2022（第2次改定）」において、交通による福祉の実現を理念として掲げ、市民の暮らしの中で大きな機能を果たしている都市交通全般について、満足度と質が高く、誰もが安全で安心して快適に移動できる公共交通環境の整備を目指している。

具体的な取組としては、みたかバスネットの抜本的な見直しに向け、令和3年8月に次世代移動サービスの活用や観光、環境、福祉等との連携も視野に入れた「三鷹市コミュニティバス将来的なあり方方針」を策定した。また、令和4年度は、本方針に基づき、市内一部地区においてコミュニティバスの社会実験を行うとともに、公共交通ネットワークの全体的な方向性を示した全体構想のとりまとめを予定している。

そこで、本市議会としても、今後のコミュニティバスをはじめとする、交通ネットワークの将来的なあり方の参考とするため、先例事例の視察を行った。

#### 4 出張者

##### (1) まちづくり環境委員

大城 美幸、嶋崎 英治、粕谷 稔、山田さとみ、小幡 和仁、

土屋けんいち、伊藤 俊明

(2) 同行職員

都市整備部交通ネットワーク推進担当部長 齊藤 大輔

(3) 随員職員

議会事務局調査係書記 秋葉 柊汰

## 金沢ふらっとバス

### 1 運行の目的及び経過

金沢市では、藩政期に形づくられた不整形な細街路や坂道が多く、市内中心部にも公共交通空白（不便）地域が存在していた。また、高齢化社会・福祉社会の進展や、交通渋滞や駐車場の問題などに伴う、都心へのアクセスの悪化と中心市街地の空洞化が課題となっていた。

そのような状況で、交通不便地域のモビリティ向上と、高齢者等の日常的な足としての地域内移動支援、中心市街地へのアクセス改善とその活性化等を目指し、マイカー依存型の都市内移動からの脱却に寄与することを目的として、平成11年3月より運行を開始した。その後、順次ルートを追加していき、平成20年には、民間バス事業者が事業撤退した高齢化率が高い地域においても運行を開始し、現在は4ルート編成となっている。令和3年にはバスロケーションシステムの導入と、全ルートにおいてICカードシステムを導入するなど、さらなる利便性の向上に向けた取組を行っている。

### 2 運行までの経緯

平成5年度～平成7年度

- ・金沢市における高齢者・障害者等のためのモデル交通計画策定調査

平成9年度

- ・金沢市におけるコミュニティバス導入に向けた検討

平成10年度

- ・走行環境調査
- ・車両の購入契約
- ・車両・バス停のデザイン、愛称の検討
- ・横安江町アーケード内走行に関する協議及びバス走行帯路面標示の実施
- ・バス停設置に関する協議（道路管理者・警察・町会関係者等）
- ・バス停名称、運行ダイヤの決定
- ・バス停付近の側溝整備（3箇所）
- ・交通事業者との協定締結
- ・PR方策の検討

平成11年3月28日

- ・運行開始

### 3 取組の概要・特徴

#### (1) 金沢ふらっとバスの概要

ア 運行時間帯  
午前 8 時30分～午後 6 時40分 (29便/日)

イ 運行事業者  
北陸鉄道株式会社  
西日本ジェイアールバス株式会社

ウ 利用料金  
(ア) 大人100円、子ども50円  
(イ) 回数券 11枚綴り1,000円 (車内等で販売)  
(ウ) バス I Cカードの導入 (平成16年12月～ 北陸鉄道と共通利用)  
(エ) 全国 I Cカードの導入 (令和 3 年 4 月～)

エ 運行経費等  
運行経費と運行収入との差額を運行負担金として市が負担している。なお、車両購入費などの初期投資や修繕費についても、市が負担している。

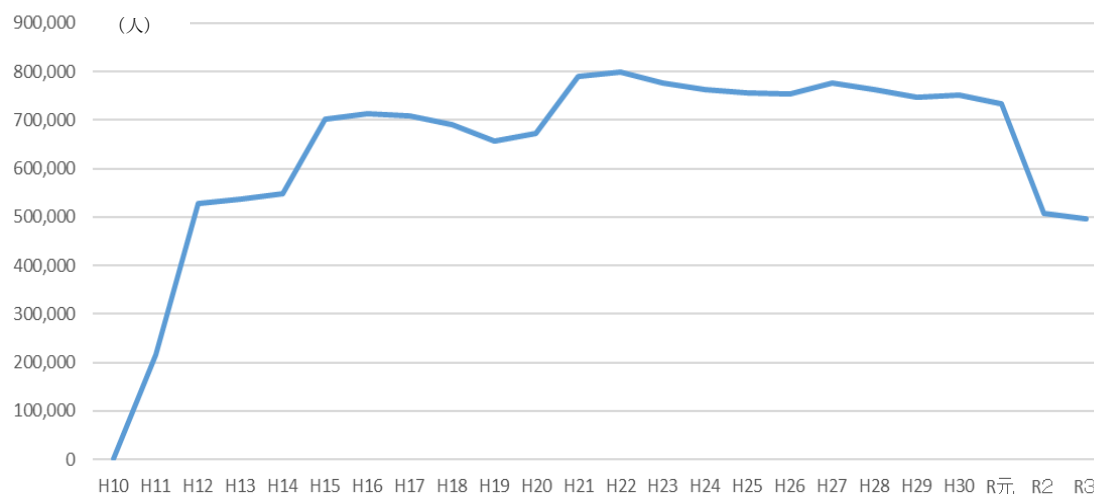
【運行経費等の推移】

	運行経費 (A)	運行収入 (B)	運行負担金 (A) - (B)
平成29年度	158,669千円	70,679千円	87,990千円
平成30年度	175,349千円	71,016千円	104,333千円
令和元年度	186,328千円	69,300千円	117,028千円
令和2年度	185,331千円	48,440千円	136,891千円
令和3年度	171,422千円	49,050千円	122,372千円

オ 利用者数

平成22年度をピークに、徐々に利用者が減っている。令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者が大幅に落ち込んだ。

【乗車人員の推移】

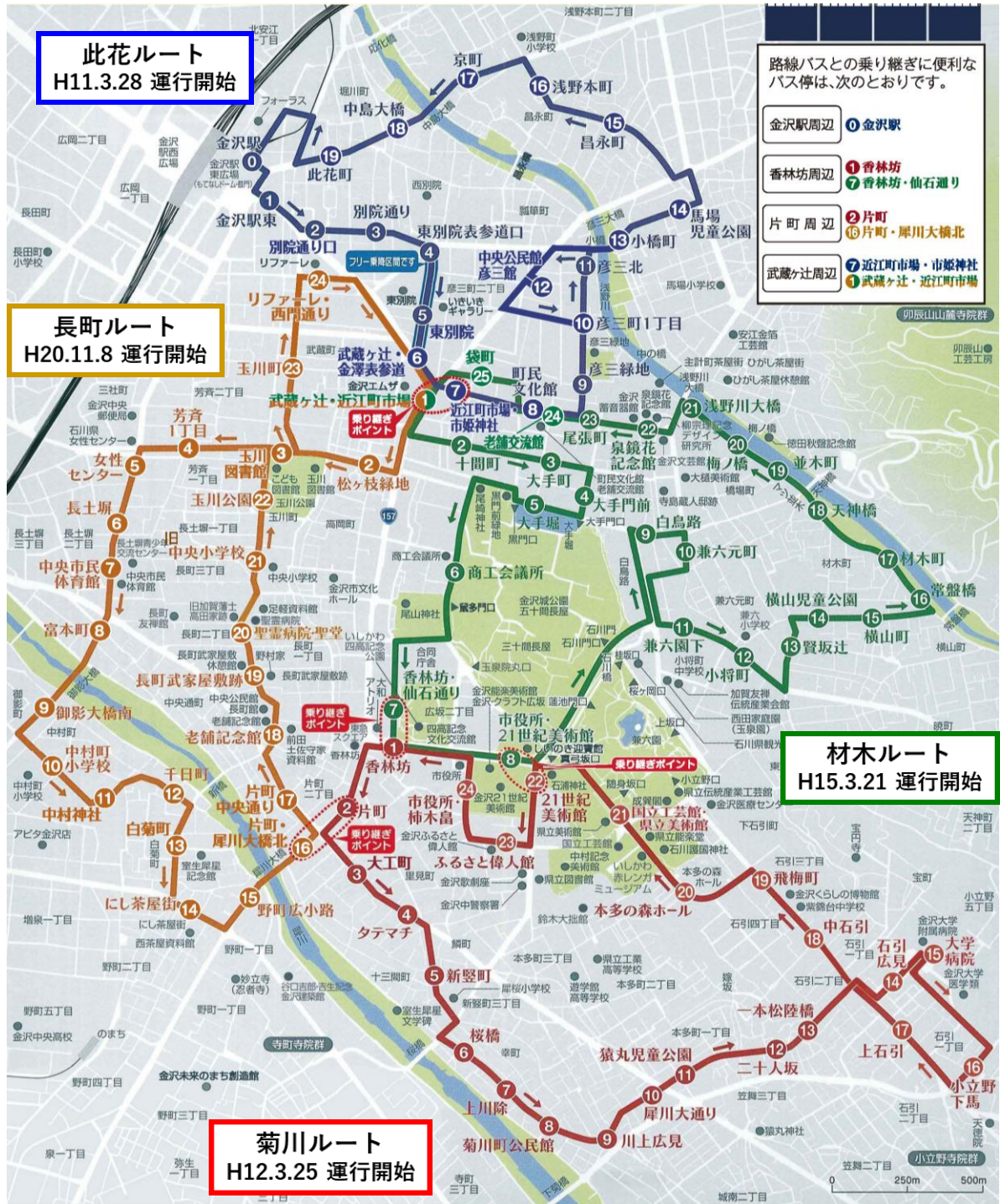


金沢市資料より

(2) 金沢ふらっとバスの特徴

- ア 細街路を運行する1周40分の循環一方通行かつ中心市街地や交通結節点を  
通るルート設定
- イ 利便性の高い20分間隔（令和4年10月現在）での少量多頻度運行
- ウ 200m間隔を目安としたバス停の設置

【バスルート】





## エ バス車両

### (ア) 導入当初

日本で初めての小型ノンステップバス（輸入車）を導入した。また、平成15年3月には、環境に優しいCNG（圧縮天然ガス）車を3台導入した。



輸入車 金沢市資料より



輸入車（CNG車）金沢市資料より

### (イ) 現在

車両購入価格及び整備費がコストダウンしたことから、平成18年度より国産の小型ノンステップバスに順次更新を行い、現在は全ての車両が国産車となっている。



国産車 金沢市資料より

## オ PTPS（公共車両優先システム）の導入

菊川ルートの一部交差点にてコミュニティバスでは全国初のPTPSを導入した。バスの交差点への接近に合わせて信号を青に変更する本システムにより、交差点における停止時間を短縮し、定時性を保った運行ができています。

## カ 歩行者用道路を通行

横安江町商店街（此花ルート）において、元はアーケード街であったところを、歩行者と公共交通機関のみが通行できるトランジットモールへと整備した。トランジットモール区間内であれば、利用者が任意の場所、タイミングで乗降ができるフリー乗降区間としている。

また、長町地内（長町ルート）においても、歩行者専用道路を通行可能としている。

## 【フリー乗降区間】



## 4 利用促進策等の実施

### (1) ふらっとバス利用促進検討委員会

平成21年から平成30年の間、利用促進策の検討が行われた。検討内容をもとに、利用者にとってより便利で身近になる施策が実施された。

- ・親子3世代利用促進キャンペーン（平成21年～平成29年）
- ・こども料金50円の導入（平成22年～）
- ・金沢ふらっとバス共通回数券の発行（平成22年～）
- ・ルート沿線の小学生によるバス車内音声案内（平成22年～）
- ・ホームページの充実（平成22年～）
- ・ルート沿線住民への啓発チラシの配布（平成22年～）
- ・公民館との連携事業の実施（平成26年～平成28年）
- ・ドライブレコーダーの導入（平成29年）
- ・図柄入り金沢ナンバープレートへの切り替え（平成30年）
- ・アウトサイダー・アート（知的障がい者による絵画作品など）の車内掲示（平成30年）

### (2) 持続可能なふらっとバスの運行に関する検討会

利用者の漸減傾向に加え、運転手不足など運行を取り巻く環境の大きな変化の中、持続可能な運行のあり方等について検討するため、令和2年に持続可能な金沢ふらっとバスの運行に関する検討会が立ち上げられ、提言が行われた。令和3年度から、ハード・ソフト両面からサービス向上につながる施策を展開している。

#### ア 提言内容

- ・当面確保できる運転手数に応じたダイヤによる運行を行うこと
- ・運行ネックの解消・利便性向上につながるダイヤ・ルートの見直しを図ること
- ・サービス水準の向上につながる施策の実現に向け取り組むこと

- ・利用頻度が少ない沿線住民や、来街者の「路線の認知・利用」意識の醸成を図ること

#### イ 取組内容

- ・3台15分間隔運行から2台20分間隔運行への変更（令和3年）
- ・全ルートにおいてICカードシステムの導入（令和3年）
- ・バスロケーションシステムの導入（令和3年）
- ・高齢者向けモビリティマネジメント事業の実施（令和3年）
- ・GPSデータを利用した定時制の調査（令和4年）
- ・公共シェアサイクル「まちなり」とデジタル回数券を組み合わせた大学生向け割引制度の導入（令和4年）

### 5 今後の課題

運行開始から20年以上が経過し、運行業者における運転手不足や、走行条件の変化など、運行を取り巻く環境が大きく変化する中、今後も持続可能な運行を継続することが課題である。

#### ◎ 主な質疑

- ・利用促進検討委員会と運行に関する検討会の設立目的の違いについて
- ・運行ダイヤの変更による市の負担額の影響について
- ・運行終了時刻に係る民間バス会社との協議について
- ・PTPS導入による一般車両への影響について
- ・ルート設定に際しての高齢者への配慮について
- ・消費税増税が利用料金に与えた影響について
- ・フリー乗車区間導入による市民の反応について

#### ◎ 主な提供資料

- ・金沢ふらっとバスについて
- ・第1回 持続可能な金沢ふらっとバスの運行に関する検討会 資料
- ・第2回 持続可能な金沢ふらっとバスの運行に関する検討会 資料
- ・第3回 持続可能な金沢ふらっとバスの運行に関する検討会 資料
- ・持続可能な金沢ふらっとバスの運行に関する提言書



### 〔最後に〕

以上、調査事項について資料等による説明、各委員の質疑等によって判明したことを含め、視察の概要を記した。

なお、視察項目の設定に当たっては、前述のとおり本市における現在の行政課題等を念頭に行ったものである。

また、視察時間を有効に活用するため、事前に視察項目に関する資料を収集し、本市事業との比較、検討を行った上で視察に臨んだ。

本委員会は、これらの成果を今後の委員会活動はもとより、市行政に反映させていくことを確認し、管外視察の結果報告とする。